

島根県内の温室効果ガス排出量について

(2015年度(平成27年度)確定値及び2016年度(平成28年度)速報値)

1. 温室効果ガス排出量

2016年度の温室効果ガスの総排出量は605万6千トンで、基準年(1990年度)と比べて7.8%増加しました。

部門別では、運輸部門は23.7%減少したものの、産業部門は12.8%、民生業務部門は48.4%、民生家庭部門は40.7%とそれぞれ増加しました。

(注) 端数処理を行っている関係上、表示されている数値を用いて算出した割合が表記の割合と一致しない場合があります(以降の図表においても同様)。

島根県の温室効果ガス排出量

(千t-CO₂)

	1990年度 (基準年)	2015年度	2016年度	前年度から の増減	2016年度 構成比率		
		基準年比	基準年比				
二酸化炭素	4,954	5,744	5,667	-1.3%	93.6%		
エネルギー起源	4,875	5,579	5,510	-1.2%	91.0%		
		14.4%	13.0%				
		産業部門	1,788	2,020	2,017	-0.1%	33.3%
			12.9%	12.8%			
		運輸部門	1,407	1,095	1,073	-2.1%	17.7%
			-22.1%	-23.7%			
民生業務部門	731	1,115	1,085	-2.7%	17.9%		
		52.4%	48.4%				
民生家庭部門	949	1,349	1,335	-1.1%	22.0%		
		42.2%	40.7%				
廃棄物部門	79	165	157	-4.4%	2.6%		
		109.4%	100.2%				
その他の温室効果ガス	663	383	389	1.6%	6.4%		
		-42.2%	-41.3%				
合計	5,617	6,127	6,056	-1.1%	100.0%		
		9.1%	7.8%				
森林吸収量	-	-1,678	-1,721	2.6%			
		-29.9%	-30.6%				
森林吸収量を加えた温室効果ガス排出量	5,617	4,449	4,335	-2.5%			
		-20.8%	-22.8%				

(注) 2016年度の数値については速報値であり、各種データが確定した段階で確定値となる

2. エネルギー使用量

2016年度の県内のエネルギー使用量は48,084TJとなっており、前年度と比べて0.7%減少し、基準年(1990年度)と比べると9.8%減少しています。

部門別では、基準年度と比べて産業部門と運輸部門については減少しましたが、民生業務部門は17.8%、民生家庭部門は10.9%増加しています。

島根県のエネルギー使用量

(TJ)

	1990年度 (基準年)	2015年度	2016年度	前年度から の増減	2016年度 構成比率
		基準年比	基準年比		
産業部門	18,227	15,585	15,848	1.7%	33.0%
		-14.5%	-13.1%		
運輸部門	19,360	14,335	14,270	-0.5%	29.7%
		-26.0%	-26.3%		
民生業務部門	7,386	8,965	8,703	-2.9%	18.1%
		21.4%	17.8%		
民生家庭部門	8,351	9,515	9,263	-2.6%	19.3%
		13.9%	10.9%		
合計	53,323	48,399	48,084	-0.7%	100.0%
		-9.2%	-9.8%		